

令和元年度 事務事業総点検シート(1)

[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類		詳細点検	
事務事業名 外国人生活支援の推進		A 一般事務事業			
担当部署名 文化観光 局 国際 部 国際 課		シート番号		08-25	
		評価責任者(課長名)		永野	

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	後期実施計画の位置付け	
			施策	5	国際交流・国際協力の推進と多文化共生のまちづくり	有	
	2	事業開始年度	平成 7 年度		終了(予定)年度	— 年度	
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)					
	4	関連計画	「堺市国際化推進プラン(改訂版)」(平成25年3月発行)及び追補版(平成30年3月発行)				
5	事業実施の経緯	社会や経済のグローバル化が急速に進展するなか、堺市が持続的な発展をめざすためには、留学生をはじめ、外国人市民が住みやすい、多文化共生のまちづくりを推進し、誰もが住みやすいまちづくりを図る必要がある。					

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 (堺市立国際交流プラザ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()				
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	在住外国人および国際交流・多文化共生を推進する市民および団体・機関等				
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか)	本市に暮らすあらゆる人が、人種・民族・宗教等の違いを越えて、お互いの人権を尊重し、地域社会の構成員として共に生きていくことのできる快適で活力ある多文化共生のまちづくりを進めることを目的とする。				
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	国際交流プラザを拠点とし、市民の国際ボランティア活動の促進、多言語FM放送や「生活必携堺市版」による外国人への生活情報の提供、行政書士・生活相談の実施、地域日本語教室への助成や日本語指導ボランティア講座の開催などを通じて外国人市民も住みやすい多文化共生のまちづくりを推進する。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 委託:(株)FM802 補助金:堺市内の地域日本語教室、堺市留学生交流事業実行委員会					

Ⅲ. 投入量

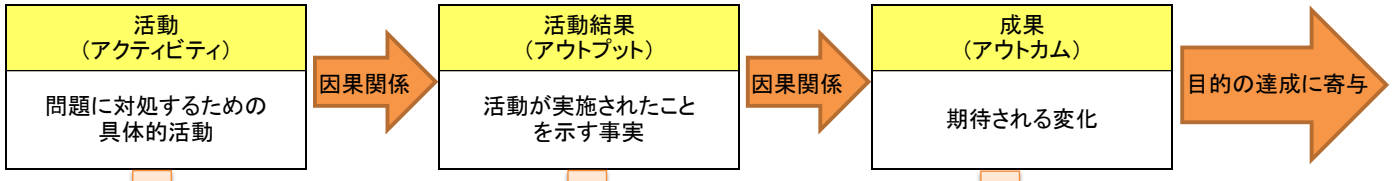
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	9,287	7,944	8,513	13,236	
	主な事業費内訳	日本語教室開催補助金	千円	1,680	1,650	1,608	1,650
		多言語FM放送	千円	3,240	3,240	3,240	3,273
		堺市留学生交流事業負担金	千円	280	280	280	200
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円				5,000
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他()	千円				
		一般財源	千円	9,287	7,944	8,513	8,236
	12 人件費 (b)	千円	6,290	6,430	11,100	11,400	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	15,577	14,374	19,613	24,636		

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	外国人生活支援の推進	シート番号	08-25
-------	------------	-------	-------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



[14]平成30年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

		平成30年度実績						
活動実績と成果	14	<ul style="list-style-type: none"> 市民の国際ボランティア活動の促進 多言語FM放送や「生活必携堺市版」による外国人市民への生活情報の提供、行政書士・生活相談の実施 地域日本語教室への助成や日本語指導ボランティア講座の開催による、市内の日本語教育に携わる者の支援 外国人市民を対象とした「入門レベルの日本語教室」の開催や「外国にルーツを持つ子どものためのセミナー」を開催。 留学生に、市民との交流(ホームビジット、西区だんじりパレードへの参加、学校への派遣等)や堺の歴史文化に触れる機会を提供。 						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		ボランティア通訳登録者数	人	目標値	200	200	200	200
				実績値	173	181	152	
				達成率	87%	91%	76%	
	評価	普通	普通	少し悪い				
	算出方法・設定根拠など		登録名簿					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		日本語教室(補助金対象)のボランティア指導者数	人	目標値	200	200	200	200
				実績値	213	203	185	
達成率				107%	102%	93%		
評価	良い	良い	普通					
算出方法・設定根拠など		日本語教室に通う外国人学習者数の1/2						

業績の分析

目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)	
17	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度は、2年に1回の登録更新を行い、その結果ボランティア通訳者数が減少した。その大半が英語と中国語の登録者であった。英語登録者については通訳派遣依頼件数が少なく、また中国語登録者については希望活動曜日や時間が限定的な方が多いことから、活動の機会が少ないことが原因と考えられる。一方、ベトナム語やタガログ語などの希少言語の通訳者は依然として登録者数が少なく、掘り起こしを進めていくことが求められる。また、制度の周知が行き届いていないという側面もあることから、制度の周知を図ることも必要である。 日本語教室については、ベトナム国籍をはじめとする参加者の増加により、指導者(担い手)が不足しているという課題がある。そのため、国際交流プラザで実施している日本語指導ボランティア研修の受講者が地域の日本語教室の活動に踏み出せるよう、日本語教室の見学等の取組をさらに進めていく必要がある。また、指導方法については「一対複数」による学習指導法の促進により、学習体制の確保にも取り組む。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。